

京都府公立高等学校の新しい入学者選抜制度(案)

◇新しい入学者選抜制度(案)の概要

1. 受検機会

◎前期選抜、中期選抜、後期選抜に分けていた選抜の、前期選抜と中期選抜を一本化し、前期選抜(仮称)と後期選抜(仮称)の2回の受検機会を設けます。

◎中学生が安心して受検に臨めるよう、前期選抜(仮称)の検査当日、体調不良等やむを得ない理由によって欠席した場合、追検査までの期間を1週間程度設けるなど、受検機会の確保に向けて適切な日程を検討します。

◇前期選抜(仮称)

検査日：2月中下旬(追検査を含む)、合格発表日：3月上旬(予定)

◇後期選抜(仮称)

検査日、合格発表日：3月中旬(予定)

2. 実施方法

(1) 前期選抜(仮称)

◎すべての学校・学科等で募集定員の100%募集を行います。

◎《独自枠(仮称)》と《共通枠(仮称)》の2つの枠を設けます。

《独自枠》：各校が定める「求める生徒像」に基づく各校の特色に応じた検査項目・配点により、多角的に評価し、選抜を行います。(現行の前期選抜に相当)

《共通枠》：各校共通の検査項目・配点により評価し、選抜を行います。(現行の中期選抜に相当)

◎《独自枠》と《共通枠》は、両方志願することも、いずれかのみ志願することも可能です。

◎《独自枠》は1校1学科等、《共通枠》は最大3校3学科等志願することが可能であり、両方志願することで、最大4校4学科等志願することが可能です。

◎選抜日程は連続する2日間です。なお、以下に示す検査日程は例示であり、今後、生徒の負担軽減の観点や志望動向等も考慮し、検査日の順番や検査教科数、検査項目のあり方について検討を進めます。

1日目：共通学力検査

2日目：独自学力検査、作文(小論文)、面接、実技検査などの学校独自検査

※ 志願する学校・学科等、枠、方式によっては、どちらか1日のみの受検になります。

◎《独自枠》、《共通枠》の順番で合格者決定を行います。

(1) 前期選抜(仮称) (続き)

《独自枠》

- ◇各校が定める検査項目（共通学力検査の活用も可能）や配点をもとに合格者を決定します。
- ◇1校1学科等志願することが可能です。
- ◇募集人員は、学科等により異なります。
- ◇原則、現行の前期選抜同様、複数の方式に分類します。
- ◇学科ごとの募集人員や検査項目、配点等は事前に明示します。
- ◇多様な評価の推進の観点から、現在一部の特別入学者選抜で実施している報告書の評定を用いない選抜方法の拡充についても検討を進めます。

【参考（現行の前期選抜の募集人員・方式）】

募集人員：募集定員の30%、50%、70%、100% ※学科等により異なる

A方式（学力検査と報告書等）：共通学力検査(独自学力検査)、報告書、面接等

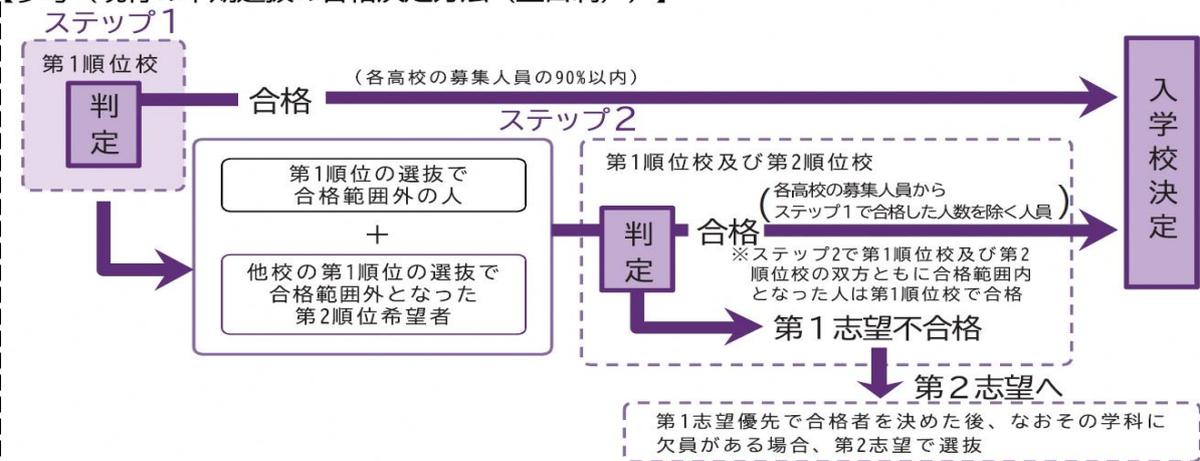
B方式（学力検査を実施しない）：報告書、面接、作文、活動実績報告書等

C方式（実技検査を実施する）：共通学力検査(独自学力検査)、報告書、面接、実技検査等

《共通枠》

- ◇共通学力検査（各教科40点×5教科（国社数理英）＝200点）と中学校からの報告書（195点※）をもとに合格者を決定します。
※中学校3年間の必修教科の合計(音楽、美術、保健体育、技術・家庭の評定は2倍)
- ◇現行の中期選抜同様最大3校3学科等志願することが可能です。
- ◇募集人員は、募集定員から《独自枠》の合格決定者を除いた数です。
- ◇現行の中期選抜と同様の方法で合格者を決定します。

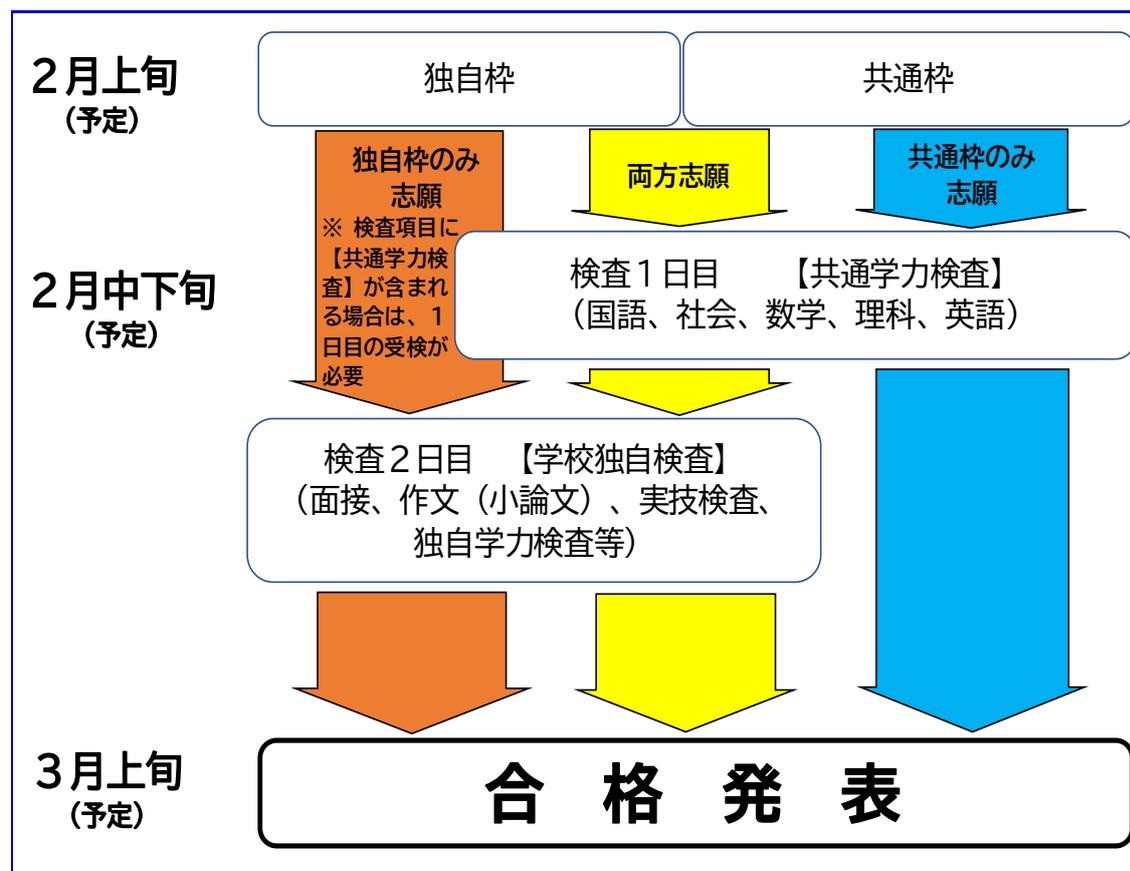
【参考（現行の中期選抜の合格決定方法（全日制））】



◎特別入学者選抜の在り方を検討し整理します。

(1) 前期選抜(仮称) (続き)

【前期選抜(仮称)の流れ】



※ 上記の検査日程は例示であり、検査日の順番や検査教科数、検査項目のあり方について検討を進めます。

(2) 後期選抜(仮称)

- ◎前期選抜(仮称)実施後に、相当の欠員がある場合に実施します。
- ◎学力検査、面接及び中学校からの報告書により合格者を決定します。

◇出願手続き

- ◎生徒・保護者の利便性向上や入試手続きの負担軽減の観点から、新しい入学者選抜制度の実施にあわせて電子出願の導入を目指します。

◇新しい入学者選抜制度の実施予定時期

- ◎令和9年度入学者選抜(現在の中学1年生対象)の実施に向けて、令和7年6月頃を目途に各校の独自枠の検査内容案等の公表を検討します。